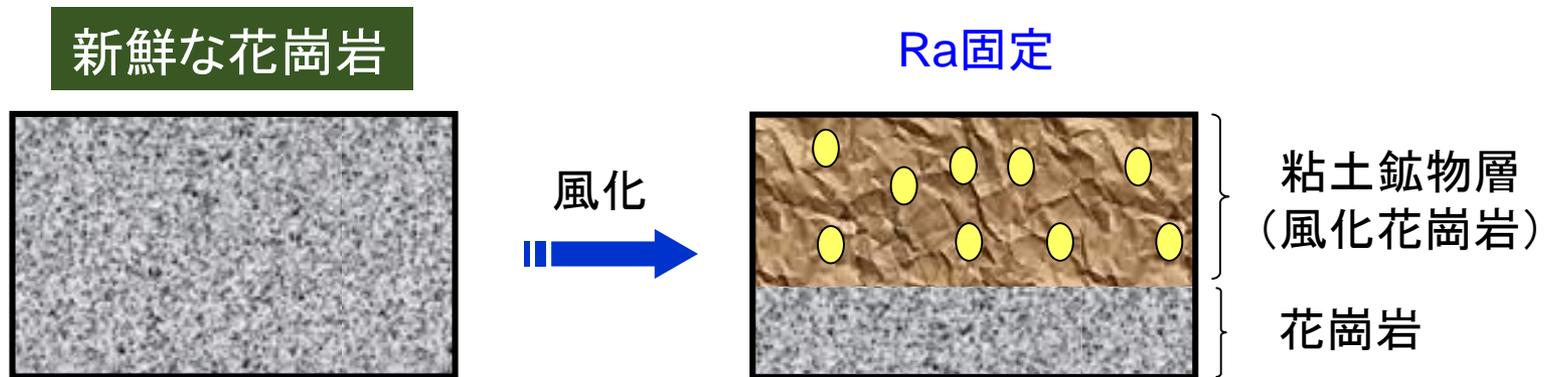


風化花崗岩によるRa固定

研究背景

人形峠の基盤岩は花崗岩からなり、センター敷地内にも風化花崗岩が露出しています。花崗岩の風化の進行とともに粘土鉱物が形成します。福島ではこうした花崗岩の風化により形成した粘土鉱物に放射性Csが固定されていると考えられています。Csと同様にイオン半径の大きいRaも粘土鉱物に固定されることが期待されます。我々はこうした予想に基づき風化花崗岩へのRa吸着挙動について研究を進めています。本研究は、東京大学高橋研との共同研究(黎明研究)において行っています。



風化花崗岩へのRa吸着挙動を明らかにする

地球表層の多くの放射性核種の移行挙動を支配する反応

⇒粘土鉱物への吸着反応

⇒吸着構造の解明が重要